

承認番号：1828

「肝移植患者における E 型肝炎の感染状況の実態調査」への ご協力をお願い

- 2000 年 1 月 1 日からこれまでに当科で手術を受けられた方へ -

研究機関名	岡山大学		
責任研究者	岡山大学 肝・胆・膵外科	教授	八木孝仁
分担研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学専攻	准教授	貞森裕
	岡山大学病院 臓器移植医療センター	助教	篠浦 先
	岡山大学病院 臓器移植医療センター	助教	榎田 祐三
	岡山大学病院 低侵襲センター	助教	吉田龍一
	岡山大学医学部 消化器外科学	非常勤講師	信岡 大輔
	岡山大学病院 肝・胆・膵外科	医員	高木弘誠

1. 研究の意義と目的

わが国の E 型肝炎は 2002 年以降感染が増加しており、東京では健康な人の約 9%が E 型肝炎の抗体陽性者であり、輸血に伴う E 型肝炎も報告されております。これまで臓器移植の際に E 型肝炎ウイルス (HEV) について十分に考慮されることは少なく、臓器移植患者の HEV 感染は世界で 3 例しか報告されておられません。E 型肝炎ウイルス (HEV) は不顕性感染に終わることが多いですが、臓器移植を受けた後に HEV 感染が慢性肝炎を引き起こす危険性が示されました。

臓器移植患者のフォローアップ中に肝機能障害を認めることは多く、B 型肝炎、C 型肝炎ウイルス検査は移植術前にチェックしているものの HEV は行っていないのが現状です。今回、HEV 感染の実態の解明を目的に、わが国を代表とする肝移植施設で調査することとなりました。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

岡山大学病院の肝胆膵外科で肝臓移植術を受けられた患者さま約 200 人。

3) 研究方法：

肝移植後の外来通院で、抗 HEV 抗体測定にて HEV 感染の有無を確認します。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから年齢、性別、移植手術日の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。今後採取される試料・検体としては、診療用血液採取時に 4ml の増量し採取し、抗 HEV 抗体を測定します。

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学肝胆膵外科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年11月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学肝・胆・膵外科

氏名：高木弘誠

電話：086-235-7257 ファックス：086-235-7636